

stryker

# ProCuity

ICUベッド

Safe  
Smart  
Scalable



人間工学に基づく設計のサイドレールが、  
つかむ、握る、座るをサポート。

## 早期離床へつなぐ低床のICUベッド ProCuityベッド シリーズ



> 400 時間

開発までに、顧客へ延べ400時間  
以上聞き取り調査を行いました<sup>1</sup>。



> 1,400 人

聞き取り調査をした医療従事者の人数は、  
延べ1,400人を超えます<sup>1</sup>。



これまでに…

**1,000,000 人近く**

米国では毎年100万人程度の患者さんが  
病院での治療中転倒します<sup>2</sup>。



**77%**

米国の看護師に対しアンケートを実施したところ  
ベッドと他のデバイスまたは病院の既存のシステムと  
連携させたら、ワークフローが改善すると77%が  
回答しました<sup>3</sup>。



**65%**

米国の看護師に対しアンケートを実施したところ、  
患者さんが挿管中は頭部側からアクセスするのが難しいと  
65%が回答しました<sup>3</sup>。



# Beds

The standard in patient care

## より良いアウトカムを

ストライカーはこれまで顧客の声を聞き続けてきました。私たちの情熱は医療従事者と患者さんの安全を守ることです。この情熱が源泉となって、ProCuityが誕生しました。低床で汎用性に富んだ設計のProCuityは、さまざまな患者さんに適用し、より良いアウトカムをもたらします。



## 選べる4モデル

ワークフローを効率化するスマートな技術を搭載した、低床で、多彩なモニター機能があるベッドです。様々な医療スタッフのニーズを満たすよう設計されています。目的に合わせて4モデルから選択できます。



### L モデル

寝台の床からの高さ29.2cm  
4インチタッチパネル



### LEX モデル

Lモデルの特長



電動ブレーキ  
USB充電ポート



### ZX モデル

LEXモデルの特長



寝台の床からの高さ35.6cm  
Zoom走行アシスト機能




### ZMX モデル

ZXモデルの特長

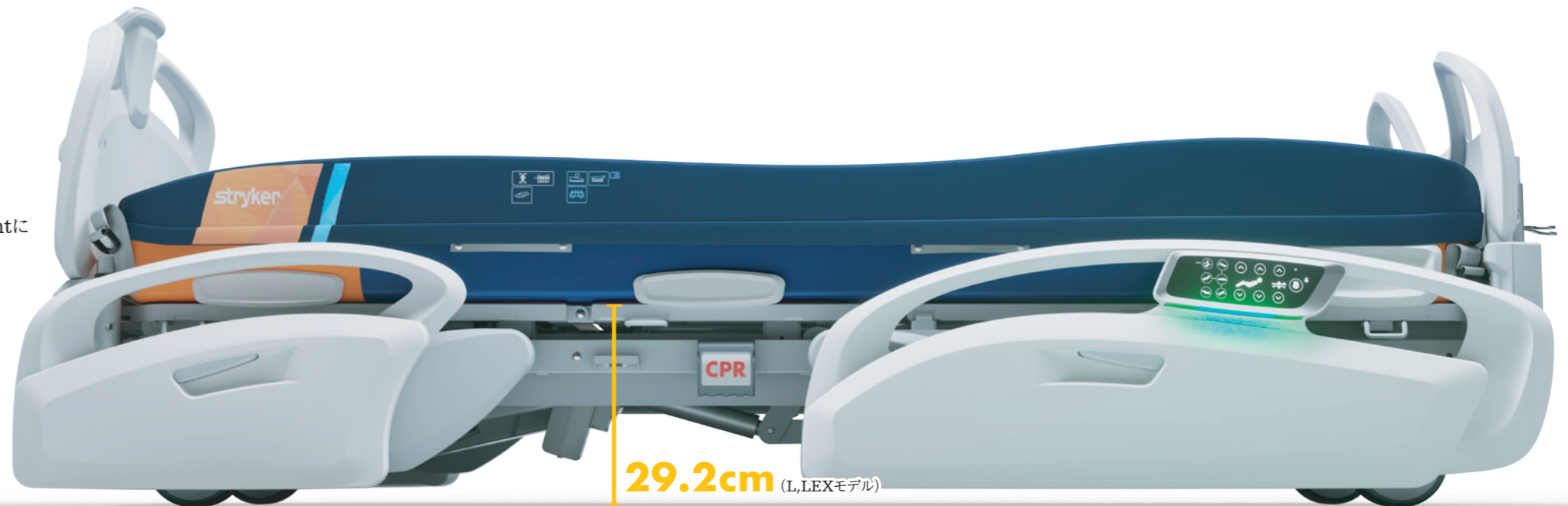


8インチタッチパネル  
一体型ハイブリッドエアーマットレス(別売)対応

 iBed Wireless(オプション)、Secure Connect(別売対応)

iBed Wireless Fall Reduction Agreementに示されている要件を満たす施設において

**50%転落が減少<sup>4</sup>**



**29.2cm** (L, LEXモデル)

## 主な特長

### デバイスホルダー | USB充電ポート

デバイスホルダーと、ホルダー内にUSB充電ポートを搭載しています(Lモデルを除く)。

### 直感的操作が可能なタッチパネル

ほとんどの操作はホーム画面から1画面以上遷移することなく、直感的操作が可能です。タッチパネルは耐久性に優れ、お手入れも簡単です。

### コネクテッドケア

ワイヤレス機能搭載のスマートベッドは、患者さんに転落のおそれがないか、ベッドのポジショニングなどの情報をリモートで確認できるよう、常時データを送信します(iBed Wireless;オプション)。

### ベッドを延長可能

収納されている延長台を引き出すと、ベッドを伸ばすことができ、背の高い患者さんにも柔軟に対応することができます。

### 優れた安定性

15.2cmの大型キャスター採用により、転がり抵抗が少なく、安定した走行が可能です。

### モニタリングシステム

iBed Wireless(オプション)と離床アラームの組み合わせで患者さんをモニタリング、ベッドからの転落予防対策が行えます。\*

### 電動ブレーキ

サイドレールパネルまたはタッチパネルからキャスターブレーキへ簡単にアクセスできます(Lモデルを除く)。

### 早期離床に貢献

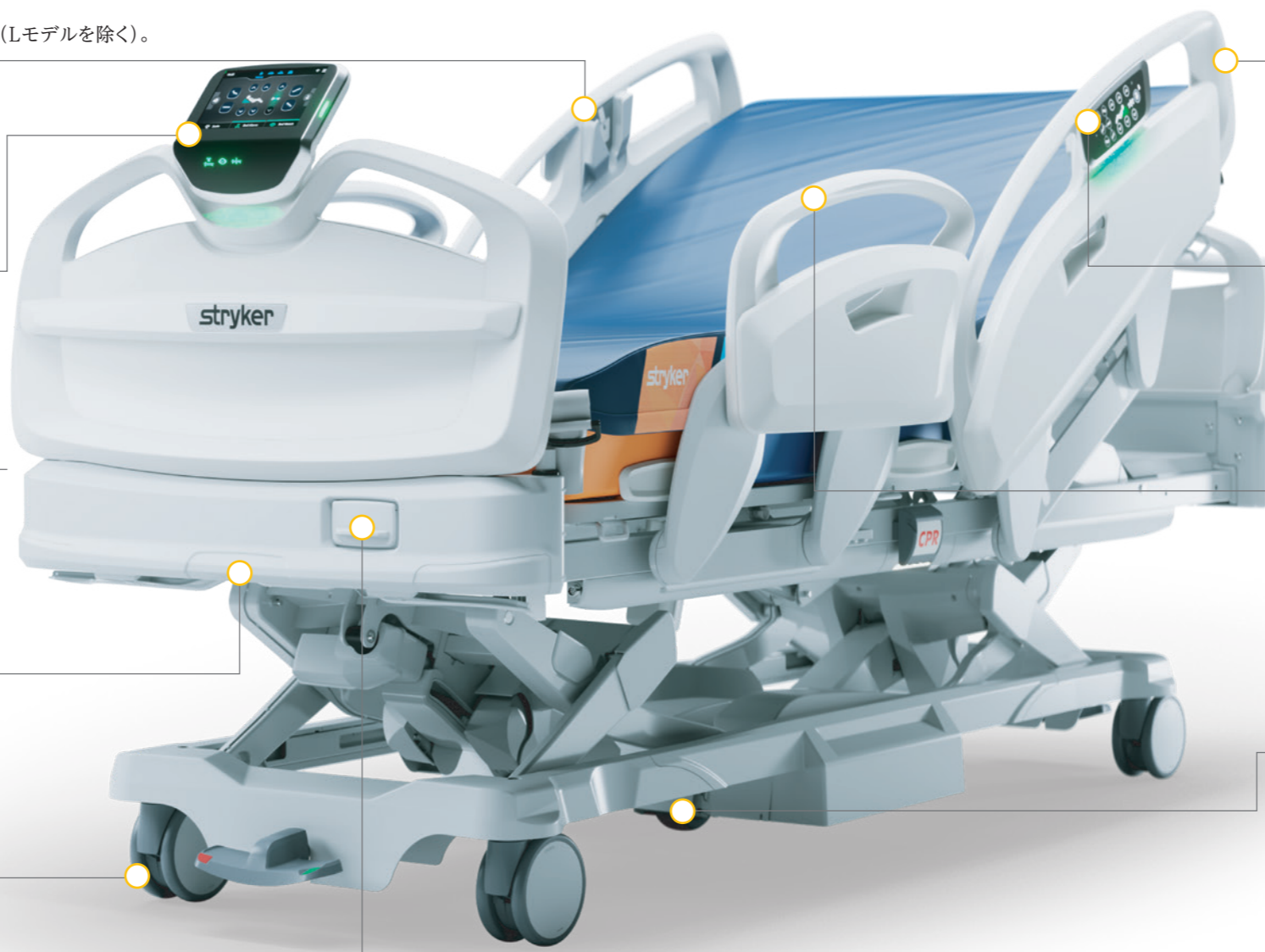
サイドレールを手すりとして使用することで、患者さんの立ち上がりを安全にアシストします。

### Zoom走行アシスト

直感的に操作できるZoom走行アシスト機能。ベッドに移送の際にかかる医療従事者の背中への負担を軽減します(ZMX, ZXモデルのみ)。

### 補助コンセント

2口計8Aまで使用可能です。



\*離床アラームは患者が本品から離床するのを検知する補助としてのみ使用するものであるため、離床検知を患者監視プロトコルの代わりとして使用しないこと。

### コントローラー

背上げ、膝上げ、ベッドの高さを簡単に調整することができます。

### ポジショニングボタン

トレンデレンブルグ、水平、リバーストレンデレンブルグ、患者アシスト、チェアポジション、足上げのポジションにすることができます。

### 30°アイコン

30°以上に背上げがされると、緑色の扇形アイコンが出現します。

### アラーム

ベッドからアラームが発せられた場合、ボタンが点灯します。

### ナースコール(オプション)

ナースコールがあった場合、ボタンが点灯します。



### 体重計測機能\*

体重測定、最大40ログ記録、新しい患者使用前にリセットするようアラートを出す、患者体重とは別に機器重量を追加／削除できるなど、様々な機能を備えています。

\*誤差は体重が27.2kg以上45.4kg未満の場合±1.4kg、45.4kg以上249.4kg未満の場合±3%。測定した計測値は取引・証明に使用できません。



どこをタッチすればよいか直感的にわかるユーザーインターフェイスで、操作がしやすいタッチパネルです。耐久性に優れ、お手入れも簡単です。



サイドレールの内側にデバイスホルダーと、ホルダー内にUSB充電ポートを搭載しています(Lモデルを除く)。ワークフローを中断されることなく、ケーブルによるつまずきのリスクがなくなります。



Zoom走行アシスト機能(ZMX, ZXモデルのみ)が移送をサポートします。スロットルを回転させて前後へ進み、ベッド中央部の車輪を軸にベッドを転回することができます。



CPRを行う際は、ベッド中央にあるCPRレバーを引きます。これにより、寝台が水平になり、対処しやすくなります。

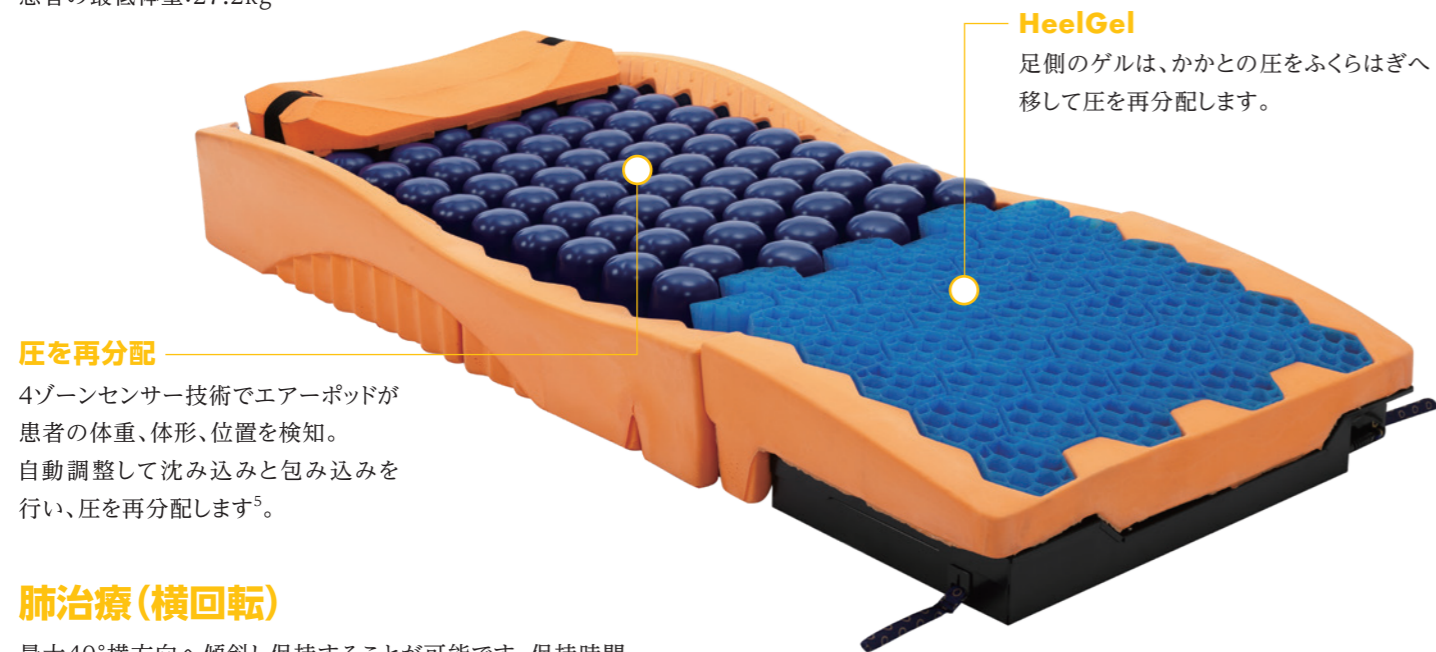
# ハイブリッドエアーマットレス

エアとゲルを組み合わせたハイブリッドマットレスはさまざまな機能で多角的に床ずれリスクの軽減を支援し、快適性を実現します。

## Isolibrium PEサーフェイス

独自のエアポッドは患者の体重や体形を検知して自動調整し、足側のゲルはかかとの圧をふくらはぎへ移すバックリング(座屈)により圧を再分配して床ずれリスクの軽減を行うハイブリッドエアーマットレスです。ProCuity ZMXモデル専用、ポンプ一体型で、ProCuity ZMXのタッチパネルでマットレスの設定や操作を直感的に行うことができます。

患者の最低体重:27.2kg



### 圧を再分配

4ゾーンセンサー技術でエアポッドが患者の体重、体形、位置を検知。自動調整して沈み込みと包み込みを行い、圧を再分配します<sup>5</sup>。

## 肺治療(横回転)

最大40°横方向へ傾斜し保持することが可能です。保持時間と角度を設定して、自動で体位を変換することができます。



## 直感操作

シンプルかつ機能的なインターフェイスで、直感操作が可能です。ProCuity ZMXのタッチスクリーンで設定や操作を行います。



## 回転アシスト

底部が傾斜して、患者の身体持ち上げをサポートします。



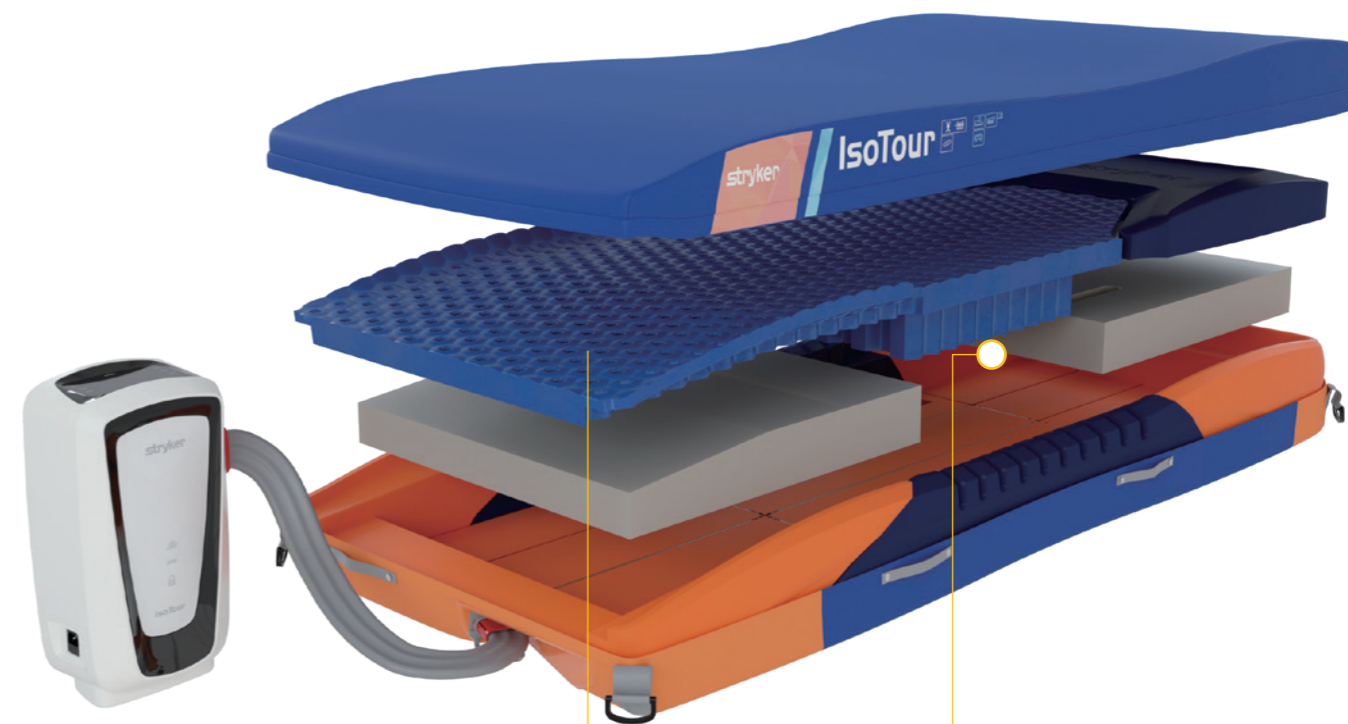
## マイクロクライメット管理

Low-Air-Loss:低空気損失(LAL)機能により、マットレスの底部からマットレス表面へ常時通気しています。

# IsoTourエアーマットレス

IsoTourエアーマットレスは、圧、ずれ、湿気など、皮膚損傷の主なリスク要因に対処するよう設計されたゲルとエアブラダー(エアバック)を組み合わせたハイブリッドエアーマットレスです。全てのストライカー製ICUベッドで使用可能です。

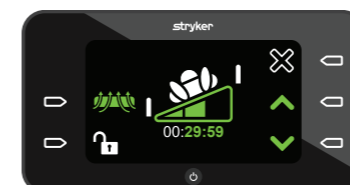
患者の最低体重:22.7kg



### TruTurn機能

体位変換アシスト機能で、最大30°横方向に傾斜し保持することが可能です。患者の持ち上げ、体位変換、ベッドからの移乗などの際にスタッフにかかる負担を軽減します。

ポンプはわかりやすいインターフェイスで、直感操作が可能です。



### マイクロクライメット管理

六角柱の形状をしたゲルと、Low-Air-Loss:低空気損失(LAL)機能で、マットレスの底部から表面まで通気、マットレス内部および表面をドライに保ちます。

### 独自のゲル技術

3つのゾーンに異なるゲルを配置、仙骨部にゲルを深く入れています。患者接触面のゲルは、体重のバックリング(座屈)と吸収によって圧を再分配します。ゲルはクーリング効果があるので熱が上がりやすく、ずれや摩擦を抑えます。

# 先進のコネクテッドケア

ZMX, ZX, LEXモデルはワイヤレス機能を搭載しています。ワイヤレス機能と下記オプションは様々なシステムと互換性があり、高度な転倒予防、アセットマネジメント、電子カルテとの連携など、ワークフローの効率化を図ることができます。

## iBed Wireless

転落の危険性が無いか、ベッドのポジショニングや離床アラームの作動状況などのデータを送り続け、患者の安全をリモートで見守ります。

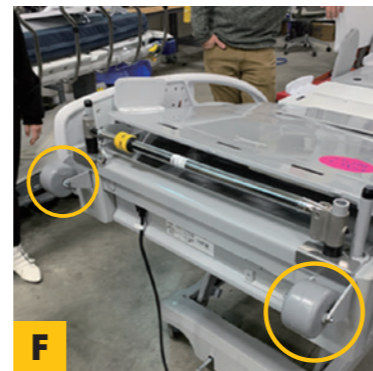
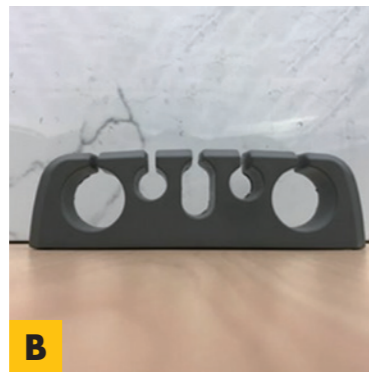
## Secure Connect

ケーブルがいらぬナースコールシステムです。  
Bluetoothと赤外線通信を組み合わせた技術を採用し、常時接続を確保しています。  
Secure Connectを病室の壁に設置、病室ごとにナースコールを構成します。  
無線環境の構築は不要です。



## アクセサリ

No.	製品名	品番
A	2段階IVポール	300900350100
B	ライン管理パッド(50個入)	300900450008
C	延長マットレス	300900670905
D	患者用簡易リモコン	300900470100
E	患者用リモコン	300900470200
F	衝撃吸収用ローラーバンパー(L,LEXモデルのみ対応)	300900450200
G	縦型ボトルホルダー(直径12.7cm)	300900450050(S)
H	縦型ボトルホルダー【大】(直径15.2cm)	300900450150(S)



## 離床へのステップ

### ヘッドアップ

離床への第1ステップはヘッドアップと体をねじる動きです<sup>5</sup>。この動作には胴体の屈曲と回転が必要で、立つ動きにつながると言われています<sup>6</sup>。背臥位から体を起こせるようになると、ベッドのサイドレールをつかむことができるようになります。



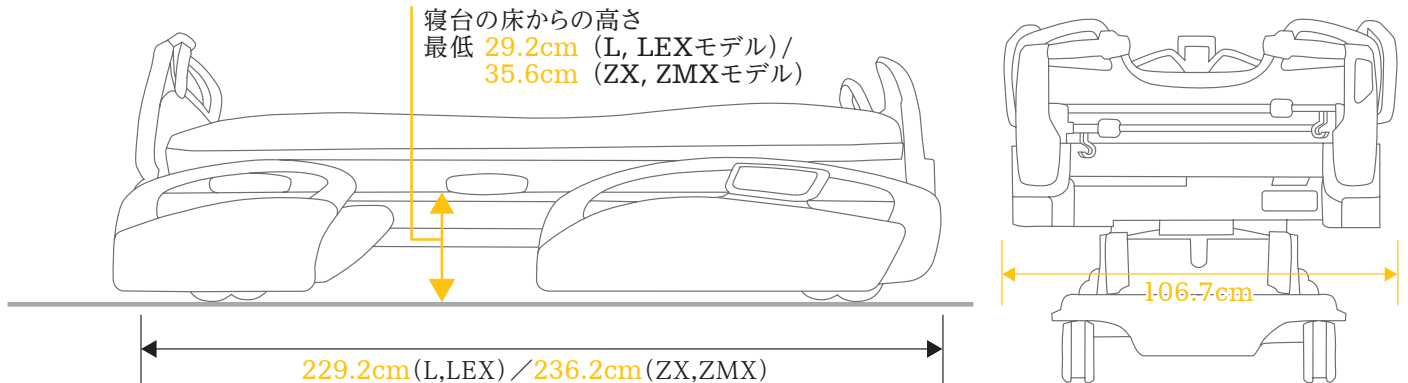
### 端坐位

離床への第2ステップはベッドサイドでの腰かけです。理想的な高さは、腰をかけた時にお尻よりも膝の方が若干高く、足の裏が床にしっかりとつく高さ<sup>7,8</sup>であると言われています。この時の理想的な膝の角度は約90°で、筋肉を効果的に使用できると言われています<sup>9,10</sup>。



## モデル別機能比較一覧

品名	品番	タッチパネル	体重計	補助コンセント	Bluetooth	電動ブレーキ	USB充電ポート	Zoom走行アシスト機能
ProCuity ZMX ベッド	300900000007	8インチ	●	●	●	●	●	●
ProCuity ZX ベッド	300900000005	4インチ	●	●	●	●	●	●
ProCuity LEX ベッド	300900000003	4インチ	●	●	●	●	●	
ProCuity L ベッド	300900000001	4インチ	●	●				



患者の最低体重	マットレスにより異なる
耐荷重	249.5kg
本体重量	260.8kg (L, LEX) 310.7kg (ZX, ZMX)

医療機器届出番号	販売名
13B1X10209000998	ProCuity ベッド
一般医療機器 / 特定保守管理医療機器	
医療機器承認番号	販売名
30500BZX00090000	ISO Tour マットレス
管理医療機器 / 特定保守管理医療機器	

### 参考文献

1. Data on file.
2. Agency for Healthcare Research and Quality. Preventing Falls in Hospitals. Retrieved December 5, 2018. <https://www.ahrq.gov/professionals/systems/hospital/fallpxtoolkit/index.html>.
3. Design Powered by Research: Improving Patient and Caregiver Safety Through Evidence-Based Design. Guy Fragala. August 2020.
4. Data on file.
5. Alexander NB, Grunawalt JC, Carlos S, Augustine J, (2000) Bed mobility task performance in older adults. Journal of Rehabilitation and Research Development. 37(5):633-8.
6. Den Ouden ME, Schuurmans MJ, Arts IE, van der Schouw, YT.(2015), Physical performance characteristics related to disability in older persons: a systematic review. Maturitas. 69(3):208-19.
7. Hughes MA, Schenkman ML, (1996), Chair rise strategy in the functionally impaired elderly. J Rehabil Res Dev. 33(4):409-12.
8. Weiner DK, Long R, Hughes MA, et al. (1993), When older adults face the chair-rise challenge: a study of chair height availability and height-modified chair-rise performance in the elderly. J Am Geriatr Soc. 41:6-10.
9. Van der Heijden MM, Meijer K, Willems PJ, Savelberg HH. (2009), Muscles limiting the sit-to-stand movement: an experimental simulation of muscle weakness. Gait Posture. 30(1):110-4.
10. Jensen J, Lundin-Olsson L, Nyberg L, Gustafson Y. (2002), Fall and injury prevention in older people living in residential care facilities. A cluster randomized trial. Ann Intern Med, 136(10):733-741.

## Japan

この資料は医療従事者に向けて作成しています。患者を治療する際、医師は常に自身の専門的な臨床判断に基づく製品の選択をする必要があります。弊社は医療上の助言をいたしません。医療従事者が製品を使用する前に、その使用方法に関する情報提供を受けることを推奨しています。使用前にその製品ラベル・取扱説明書・添付文書等を参照してください。ストライカー製品についてご不明な点は、弊社までお問い合わせください。

®マークの付いた製品名は、ストライカーグループ各社の登録商標です。

Literature Number: AC01-001  
HM/KM 3K 12/25

Copyright © 2025 Stryker  
Printed in Japan

## 日本ストライカー株式会社 メディカル事業本部

製品に関するお問い合わせは

**0120-715-545**

平日9:00~17:00(土日、祝日、年末年始を除く)